

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
- (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
- (ホ)本書のご提示がない場合
- (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
- (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	バースピーカー 2.1.0			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	ASP-DA2100N	品番	03-2967	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな			
	★お名前 様			
	★ご住所 〒 ー			
	電話 ()			

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話
	(印)

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
 ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
 ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
 ●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
 電話受付 平日 9:00~17:00
 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター** へ
 電話受付 **048-992-3970** 平日 9:00~17:00
 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

SOUND SHACK

保証書付 取扱説明書

バースピーカー 2.1.0

型番：ASP-DA2100N

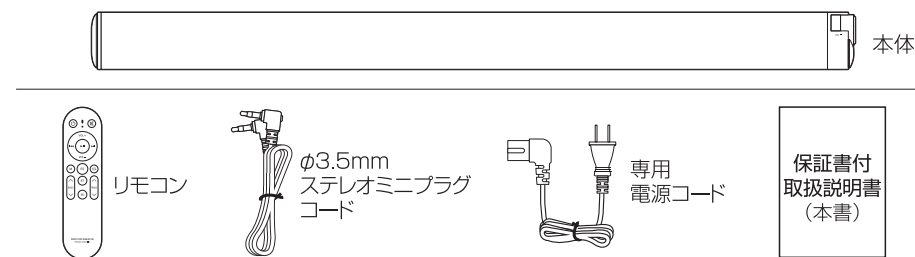
品番：03-2967



このたびは、バースピーカー 2.1.0をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

内容一覧(箱の中身をご確認ください)



目次

免責事項	1	基本操作	11~12
安全上のご注意	1~3	Bluetoothで音楽などを楽しむ	13~14
Bluetoothについて	4	USBメモリーの音楽を聴く	15
各部の名称	5	故障かなと思ったら	16
接続・設置のしかた	6~8	主な仕様	17
電源の接続と主電源スイッチについて	8	お手入れのしかた	18
リモコン用乾電池の入れかた	9	保証書とアフターサービスについて	18
Dolby Atmos対応のコンテンツを楽しむには	10	保証書	裏表紙

免責事項

- 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
 - 本製品によって生じたデータの消失または破損
 - 本製品のために費やした時間及び経費
 - 本製品を運用した結果もたらされた損害
 - 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
 - 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について	
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。	
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。
絵表示の使用例	
	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告			
付属品を使う	本製品を使用するときは、必ず付属の電源コードを使う。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使わない ● 付属の電源コードは本製品専用です。 ● 他のコードを使うと、製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となります。	接触禁止	雷が鳴り始めたら、安全のため本体及び電源コードに触れない ● 落雷や感電の原因となります。
		修理を依頼	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ● そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ● 販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
分解禁止	分解、修理、改造しない ● 火災・感電の原因となります。		

警告			
22cm以上離す	心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位を本体から22cm以上離す ● 電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。	禁止	医療機器の近くで使わない ● 電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。
	コンセントから抜く		表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ● 火災・感電の原因となります。
	万一、煙が出てい、変なにおいや音をするなどの異常を感じたら、すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く ● そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ● 煙が出なくなるのを確認して、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本体や電源コードを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、敷物などで覆わない ● 熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。
必ず守る	万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く ● そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ● 販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	禁止	本体や電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードの上に本体をのせない ● コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
	電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する ● 手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ● 本体の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐに電源コードのプラグを家庭用コンセントから抜いてください。		本体の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ● 火災・感電の原因となります。
	水かけ禁止		本体の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない
必ず守る	浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない ● 感電や故障の原因となります。	注意	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ● 破損して火災・感電の原因となります。
			リモコンから取り外した乾電池は、小さなお子様に触らせない ● 幼児の手の届かないところに保管してください。

注意			
コンセントから抜く	お手入れの際や移動させるときは電源プラグをコンセントから抜く ● 火災・感電の原因となることがあります。	掃除をする	電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ● 電源プラグとコンセントの間にほこりがたまりと自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
	長期間本製品を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ● 火災の原因となることがあります。		
めれ手禁止	ぬれた手で操作しない ● 感電の原因となることがあります。	音量を抑える	大音量で聴き続けたい。また、電源を切る前に音量を抑える ● 大音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。 ● 大音量のまま電源を切ると、次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
極性に注意	乾電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる ● 電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		

⚠ 注意

禁止 指定以外の電池は使わない ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。 自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。 シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。	禁止 ほごりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。 ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。 日本国以外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。 ●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。
--	--

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

⚠ 注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

Bluetooth について

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内:Class2の場合)で通信を行う無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

【バージョンとプロファイル】

本製品はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル: A2DP、AVRCP、AVDTP、AVCTP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。

※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

【通信可能範囲】

本製品の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

【セキュリティ】

本製品は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

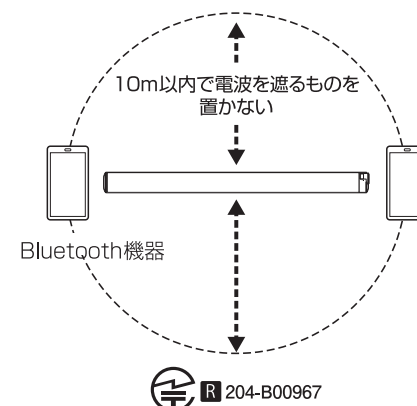
【機器認定について】

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造する行為、本製品に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本製品は日本国内でのみ使用できます。

【使用周波数と注意事項】

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

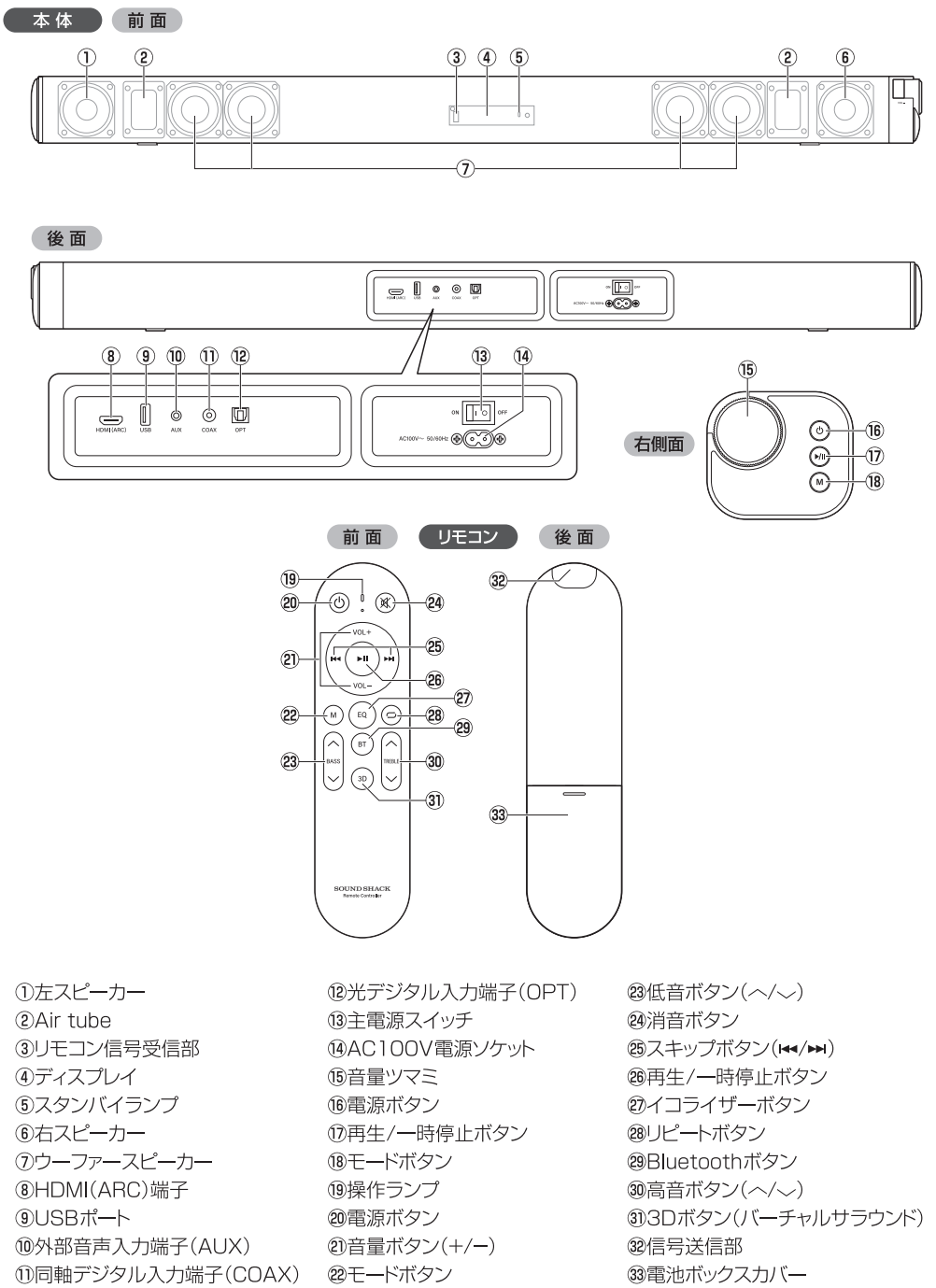
- ・ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本体の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- ・そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。



医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本体を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- 医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本体の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- 無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- 植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

各部の名称

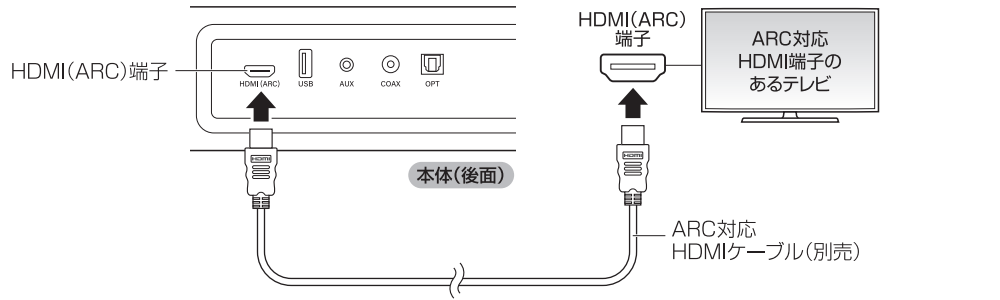


接続・設置のしかた

本体及び接続機器(テレビなど)の電源が切れた状態で接続してください。また、それぞれの端子は、しっかり奥まで差し込んでください。

※接続機器(テレビなど)の仕様や機能、設定によっては、一部機能が正常に動作しない場合があります。

「ARC」と表記されたHDMI端子があるテレビの場合



ARC対応HDMIケーブル(別売)を使って、本体とテレビのHDMI(ARC)端子をつないでください。

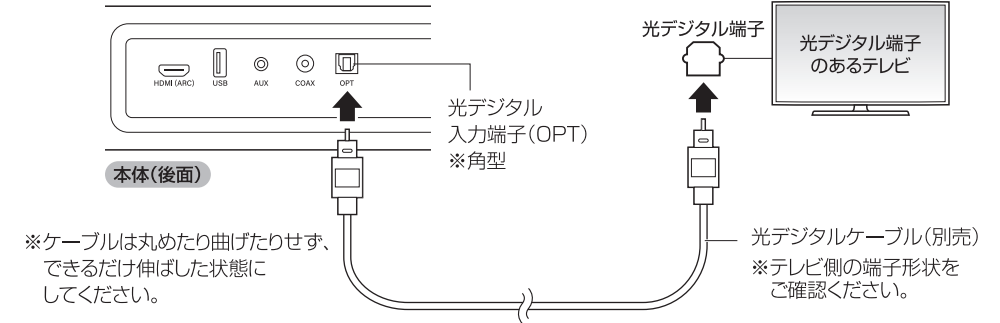
※ARC(Audio Return Channel)：音声データを接続機器間で双方向に伝送できるHDMI規格のことで、本製品はこの規格に対応しています。

ヒントとご注意 HDMIケーブルで接続しても音が出ないときは、以下の点をご確認ください。

- 「ARC対応」と明記されたHDMIケーブルを使い、テレビ側もHDMI(ARC)端子に接続する。
- テレビ側の音声出力先を外部スピーカーに設定する(接続しただけでは切り換わらない場合があります)。
- テレビのデジタル音声出力設定を確認する(P.10参照)。
- テレビのHDMI機器制御機能が有効になっていることを確認する。
- 本製品のモードをゆっくり巡させた後、改めて「ARCモード」にする。
- HDMIケーブル接続後、しばらく時間を置く(設定が変更されるまでに時間を要する場合があります)。

テレビのHDMI端子に「ARC」の表記がない場合(光デジタル接続)

テレビのHDMI端子がARC非対応の場合は、本製品とのHDMI接続ができません。以下の方法で接続してください。



光デジタルケーブル(別売)を使って、本体の光デジタル入力端子とテレビの光デジタル端子をつなぎます。光デジタル端子には、角型(本製品はこのタイプです)とミニプラグタイプがあります。テレビの端子形状を確認し、双方に適合するケーブルをお使いください。

接続・設置のしかた(つづき)

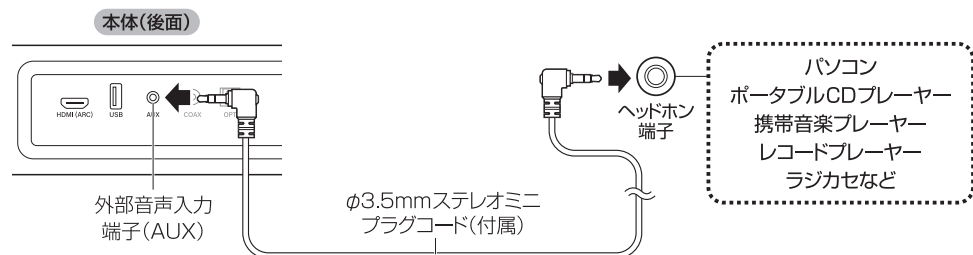
同軸デジタル入力端子(COAX)を使った接続方法

同軸デジタル端子があるオーディオ機器は、同軸デジタルケーブル(別売)を使い、本体の同軸デジタル入力端子と接続することも使用可能です。



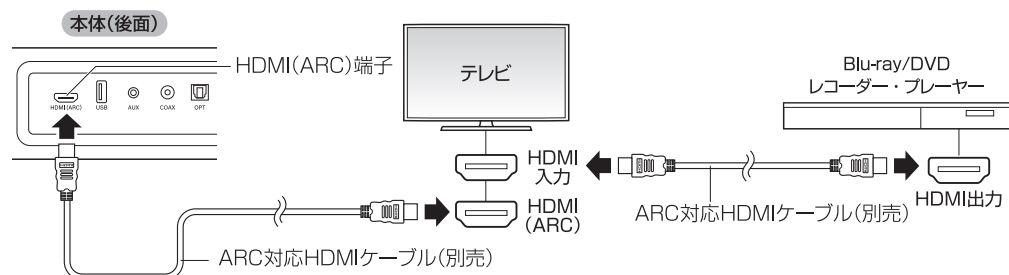
外部音声入力端子(AUX)を使った接続方法

ヘッドホン端子があるパソコンやポータブルCDプレーヤー、携帯音楽プレーヤー、レコードプレーヤー、ラジカセなどは、付属のφ3.5mmステレオミニプラグコードを使って、本体の外部音声入力端子と接続してください。ヘッドホン端子があるテレビの場合は、この方法でもお使いいただけます。



Blu-ray/DVDレコーダー・プレーヤーを接続するときは

以下のように接続してください。



※どちらの接続にもARC対応HDMIケーブル(別売)をお使いください。ARC非対応のHDMIケーブルでは音が出ません。
※Dolby Atmos対応のコンテンツを楽しむには、接続するTVはDolby Atmos対応である必要があります。

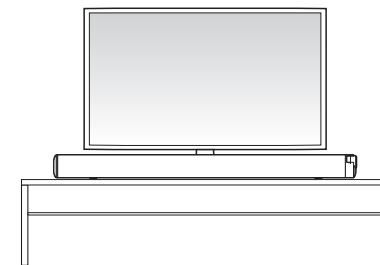
ヒントとご注意

- テレビとの接続方法により、本製品で出力できる音声フォーマットが異なります。HDMI(ARC)→光デジタル→同軸デジタル→外部音声入力の順で、音質が低くなりますので、テレビに搭載されている端子を確認し、できるだけ高音質での接続をおすすめします。

設置について

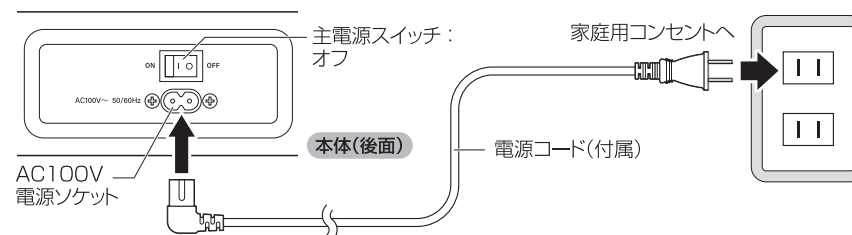
次の点に留意しながら、テレビの前に置いてください。

- 本体の上を覆わない：音質や音の広がりに影響が出ます。上方や側面方向に遮蔽物がない場所に置いてください。
- ぐらつきのあるテレビ台は使わない：出力に影響が出るおそれがあります。
- 本体の前に物を置かない：リモコン操作の妨げになりますので、特に信号受信部の前には置かないでください。
- テレビのリモコン信号受信部を本体で隠さないようにする：リモコン操作の妨げになります。



電源の接続と主電源スイッチについて

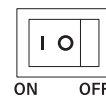
主電源スイッチが切れていることを確認し、付属の電源コードを使って、家庭用コンセントと本体のAC100V電源ソケットをつなぎます。



重要

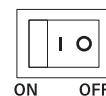
付属の電源コードは本製品専用です。本製品をご使用の際には、必ず付属の電源コードをお使いください。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

主電源スイッチ



本製品を使うときは、主電源スイッチをオンにして、スタンバイ状態にしてください。

- スタンバイランプが赤く点灯します。



使い終わった後、長時間本製品を使わないときは主電源スイッチをオフにしてください。

また、テレビやその他の外部機器と接続するときや接続を解除するときも、主電源スイッチをオフにしてください。

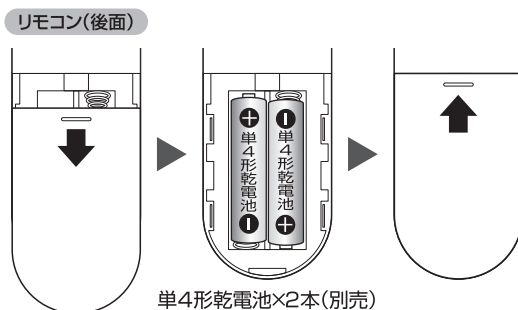
- ディスプレイ表示とスタンバイランプがどちらも消灯します。
- 主電源をオフにすると、次の設定は初期値に戻りますのでご注意ください。
 - ・音量設定：2
 - ・高音域設定/低音域設定：0
 - ・イコライザー設定：MOVIE
 - ・モード：ARC
 - ・3D：オフ

リモコン用乾電池の入れかた

- 1 電池ボックスカバーの — 部を押し下げて電池ボックスカバーを取り外します。

- 2 単4形乾電池×2本(別売)を⊕と⊖の向きに注意して正しく入れます。
 - コイルバネのあるほうが⊖(マイナス)です。
 - ⊖側から先に入れてください。

- 3 電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。



ヒントとご注意

- 任意のボタンを押すと、操作ランプ(赤)が光ります。
- リモコンの操作距離が短くなったり、ボタンを押しても動作しなくなったときは、乾電池の消耗が考えられます。新しいものと交換してください。
- 長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。



Dolby Atmos 対応のコンテンツを楽しむには

Dolby Atmos ドルビーアトモスとは

ドルビーラボラトリーが開発し、多くの映画作品や映画館でも採用されている立体音響技術の一つです。従来のサラウンドでは、前後左右方向のステレオサウンドが中心でしたが、Dolby Atmosは、高精度の音響効果を、上方を含めた空間に再現。頭上をハイスピードで飛び去るジェット機の轟音やコンサートホール全体を包み込むスタンディングオベーションなど、今まで以上のリアルな没入感を映画やライブ映像で楽しむことができます。

通常、Dolby Atmosの再生にはサブスピーカーが必要ですが、本製品では、左右チャンネルスピーカーと4つのウーファースピーカー、低音域を増幅するAir tubeを使った独自のバーチャルサラウンド技術により、立体音響をシミュレート。Dolby Atmosならではの音の魅力を最大限に引き出します。

- Dolby Atmosの音声を本製品で出力するには、テレビ及び視聴コンテンツ(インターネット経由の動画コンテンツ)がDolby Atmosに対応している必要があります。また、Blu-rayディスクを見る場合は、Blu-rayレコーダー / プレーヤーとBlu-rayディスクのどちらもDolby Atmosに対応している必要があります。
- Dolby Atmosの音声を本製品で出力するときは、接続機器(テレビやBlu-rayレコーダー / プレーヤーなど)のデジタル音声出力を「ビットストリーム」または「自動」に設定してください。PCM(LPCM)にすると、音声出力されません。なお、ビットストリームは、メーカーによりデジタルスルー、パススルーなどと呼ばれることもあります。詳しくは各機器付属の取扱説明書などをご参照ください。
- ディスクによっては本編(主言語)のみDolby Atmosで、それ以外のオープニングやメニュー画面、副音声などは、他のフォーマットになっていることもありますのでご注意ください。
- 映画コンテンツをはじめ、Blu-rayディスクに副音声が含まれている場合、Dolby Atmos対応ディスクを入れているにもかかわらず、再生開始時に「DOLBY SURROUND」と表示されることがあります。これは接続機器独自の設定でDolby Atmosが他のフォーマットに変換されてしまうことによるものです。このようなときは、接続機器側のデジタル音声出力設定で、副音声などのフォーマット変換機能を「切」などに変更してお試しください。
- テレビとの接続には、必ずHDMI(ARC)端子を使用してください。Blu-rayレコーダー / プレーヤー使用時の接続方法は、P.7「Blu-ray/DVDレコーダー・プレーヤーを接続するときは」をご確認ください。

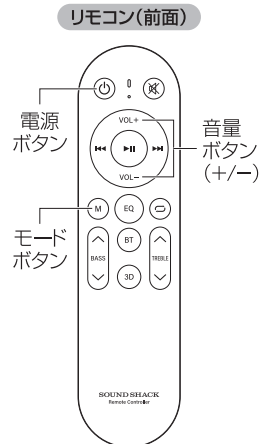
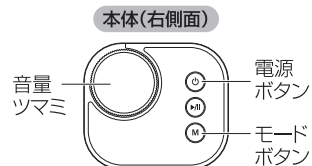
ヒントとご注意 テレビのデジタル音声出力設定について

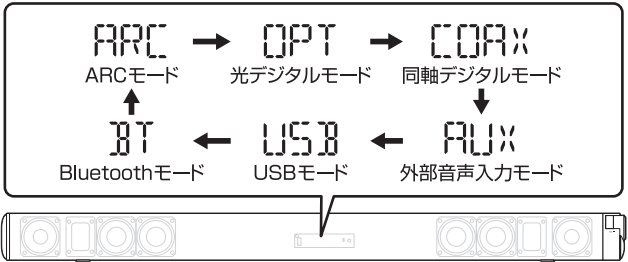
- 地上波やBS放送を視聴するとき、テレビによってはデジタル音声出力の設定を「PCM」にしないと本製品から音声出力されないことがあります。その場合は設定の変更が必要になります。
- 光デジタル、同軸デジタル、外部音声入力による接続で音声を出力するときは、テレビのデジタル音声出力設定を「PCM(LPCM)」または「自動」に設定してください。多くの場合、「ビットストリーム」などでは音声出力されません。また、「自動」に設定しても出力されない場合は「PCM(LPCM)」に設定してください。

基本操作

接続機器の電源を入れ、本体の主電源スイッチをオンにした後、操作してください。

Bluetoothモードでの操作はP.13～14、USBモードでの操作はP.15もあわせてご確認ください。



- 1 本体またはリモコンの電源ボタンを押して、電源を入れます。
 - 電源が入るとスタンバイランプ(赤)が点灯し、ディスプレイに「HELLO」に続いて「ARC」が表示されます。
- 2 突然大きな音が出るのを防ぐため、本体の音量ツマミ、またはリモコンの音量ボタン(-)で音量を絞ります。
- 3 本体またはリモコンのモードボタンを押してモード(音源となる接続先)を切り換えます。
 - 押すたびにモードが変わります。
- 4 必要に応じて、接続機器側で選局、再生などの操作をします。
- 5 音量・音質を調節します。
 - 音量の上げすぎにご注意ください。
 - 詳細はP.12「音量・音質の調節について」をご参照ください。
- 6 使い終わったら、本体またはリモコンの電源ボタンを押して、スタンバイ状態にします。
 - 「STAND」と表示された後、ディスプレイ表示が消え、スタンバイランプ(赤)が点灯します。
 - 本体をスタンバイ状態にした後、接続機器の電源を切ってください。

ヒント

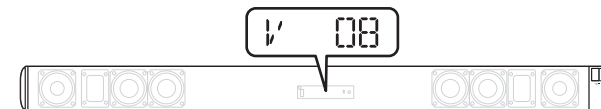
- ARCモードでテレビと接続しているときは、テレビの電源を切ると本体も自動でスタンバイ状態になります。その後、テレビの電源を入れると、しばらくして本体も自動的にARCモードで電源が入り、音声を出力します。機器によっては、本製品側で音量を操作すると、音量レベルがテレビに表示されるものもあります。
- ARCモードでテレビと接続しているときは、ARCモード以外で使用中にテレビの電源を切っても、本体はスタンバイ状態になりません。テレビの電源をオンにすると、自動的にARCモードへ切り換わります。
- 何も操作しない時間が約3分間続くと(音声出力中を含む)、ディスプレイ表示もスタンバイランプも消えて、主電源スイッチがオフのときと同じ表示状態になります。使い終わったとき、それに気づかず放置すると電力を消費しますので、使用後は確実にスタンバイ状態に戻し、長時間使わないときは主電源スイッチを切るようにしてください。
- 約30分間操作がなく、音声信号の入力もない状態が続くと、自動的にスタンバイ状態へ移行します。

音量・音質の調節について

音量の調節

本体の音量ツマミまたはリモコンの音量ボタン(+/-)で、音量を調節できます。

- 0～32の間で調節でき、音量レベルが約3秒間表示されます。
- リモコンのボタンを長押しすると、増減スピードが速くなります。
- 電源を切る前のARCモードで設定した値が優先されます。



高音域/低音域の調節

低音域はリモコンの低音ボタン(~/~)で、高音域はリモコンの高音ボタン(~/~)で調節できます。

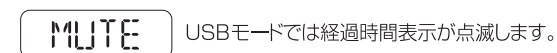
- それぞれ-5～+5の間で調節でき、レベルが約3秒間表示されます。
- 長押しすると、増減スピードが速くなります。



消音

リモコンの消音ボタンを押すと、本体からの出力を消音します。

- 「MUTE」表示が点滅します。もう一度押すと、元に戻ります。



イコライザー

リモコンのイコライザーボタンを押すと、ジャンルやシーンに応じた音質を選べます。

MUSIC：音楽を聴くのに適した設定

MOVIE：映画を楽しむのに適した設定

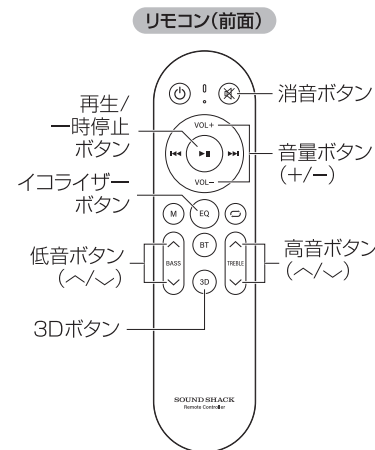
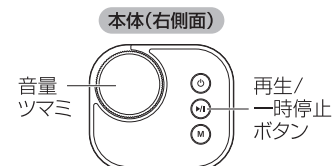
NEWS：会話や人の声が聴き取りやすい設定

ボタン操作に応じて、設定が約3秒間表示されます。

3D(バーチャルサラウンド)

リモコンの3Dボタンを押すと、立体感のある音質が強調されます。

- 一時的に「ON」と表示されます。
- もう一度押すと「OFF」と表示されて、3Dが解除されます。



ヒントとご注意

- 音量調節は、本製品と接続機器のいずれでも可能ですが、接続機器側の設定を小さくし、本製品側の設定を大きくした場合、他のモードに移行したときに大音量になることがありますので、十分ご注意ください。
- ARC、光デジタル、同軸デジタル、外部音声入力の各モードでは、本体またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押すと、消音ボタンと同じ動作となります。
- 3Dボタンは擬似的にサラウンド効果を強調するものです。Dolby Atmosなどの高音質フォーマット再生時にONにすると音質が変化しますので、好みに応じてお選びください。

Bluetoothで音楽などを楽しむ

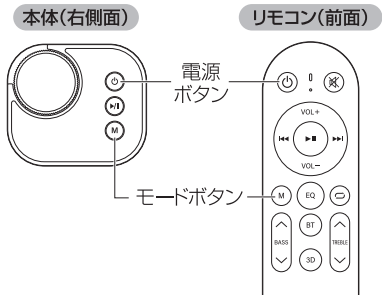
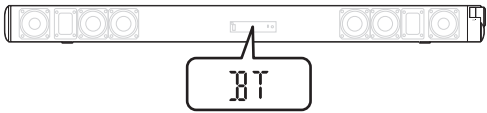
本製品は離れた場所にあるBluetooth対応機器(相手側機器：タブレット端末やスマートフォン、Bluetooth対応音楽プレーヤーなど)の音楽をワイヤレスで聴くことができます。

初めての機器とBluetooth接続するときは、必ずペアリング(本製品と相手側機器を相互に初期登録する操作)してください。

ペアリングのしかた

- ペアリングする前に相手側機器の電源を入れ、本体と約1m以内(障害物なし)に近づけてください。
- 本製品がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、本製品とのペアリングはできません。その場合は、本製品及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。
- 本製品はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：A2DP、AVRCP、AVDTP、AVCTP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 「基本操作」(P.11～12)もあわせてご確認ください。

- 1 本体の電源を入れ、Bluetoothモードにします。
- 「BT」が点滅し、接続可能な相手側機器を探している状態(サーチモード)になります。



- 2 相手側機器で本製品を登録します。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone：[設定]→[Bluetooth]

Android：[設定]→[Bluetooth]

[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は一例です。各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

本製品を登録する

相手側機器で本製品の名称「ASP-DA2100N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスコードやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

ペアリングが完了すると…

電子音が流れた後「BT」の点滅が点灯に変わり、本製品を使用できる状態になります。相手側機器で再生などの操作をしてください。機器や使用アプリによっては、本体またはリモコンの再生/一時停止ボタンで、再生を始められる場合もあります。

- 3 本体及びリモコンの主なボタン機能は以下のとおりです。

下記は一例です。Bluetooth接続時の操作は、相手側機器で行ってください。

ご使用になるアプリにより、本製品付属のリモコンでは一部操作ができない場合があります。

本体	リモコン	動作
—		消音。もう一度押すと、元に戻る
	VOL+	音量を上げる。本体の場合は時計まわりに回すと音量が上がる
	VOL-	音量を下げる。本体の場合は反時計まわりに回すと音量が下がる
		再生 ⇄ 一時停止
—		次のファイルを再生
—		ファイルの先頭に戻る。続けて押すと、1つ前のファイルを再生
—		Bluetooth接続中に長押しする：接続を解除し、サーチモードになる Bluetoothモード以外のときに押す：Bluetoothモードになる(ペアリング済みの接続可能機器があるときは自動接続。それ以外はサーチモードになる)

※電源操作、モード切換、音質の調節などについては、「基本操作」(P.11～12)をご参照ください。

ヒントとご注意

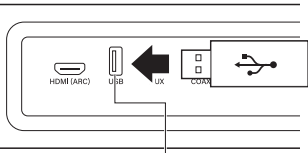
- サーチモードのまま約3分が経過すると、「BT」の点滅は消えますが、電源は切れません。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth接続可能な状態のときは、本体の電源を入れ、Bluetoothモードにすると、自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本製品との接続を確立してからお使いください。
- 使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れていないかを確認してください。その後、本体及び相手側機器の電源を入れ直して、正常に戻るか確認してください。それでも改善されない場合は、相手側機器で本製品の登録を削除し、ペアリングし直してください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフにしてから操作をやり直してください。
- 本製品に通話機能はありません。スマートフォンと接続しているときに電話着信があると、再生が一時停止します。スマートフォン側で電話に出るなどの操作をしてください。通話を終了すると再生を再開します。

USBメモリーの音楽を聴く

1

スタンバイ状態またはUSB以外のモード時にUSBメモリーをUSBポートに差し込みます。

- 端子の向きを確認し、奥までしっかり差し込んでください。
- USBメモリーが接続されていない状態でUSBモードに切り換えると、ディスプレイに「NOUSB」と表示されます。



本体(後面) USBポート ※端子の向きを確認

2

音量を絞ります。その後、USBモードにすると、再生が始まります。

- スタンバイ状態のときは、電源を入れてから音量を絞り、USBモードにしてください。



ファイル番号に続いて経過時間を表示します。

3

USBモードでは以下の操作が可能です。

本体	リモコン	動作
—		消音(経過時間表示が点滅)。もう一度押すと、元に戻る(音量表示後、経過時間表示に戻る)
	VOL+	音量を上げる。本体の場合は時計まわりに回すと音量が上がる
	VOL-	音量を下げる。本体の場合は反時計まわりに回すと音量が下がる
		再生一時停止
—		次のファイルを再生
—		1つ前のファイルを再生
—		リピート設定：ALL(初期設定)…メディア内の全ファイルをリピート ONE…再生中のファイルをリピート

※電源操作、モード切換、音質の調節などについては、「基本操作」(P.11～12)をご参照ください。

4

USBメモリーを抜くときは、事前に再生を一時停止させてから本体をスタンバイ状態にするか、他のモードにしてください。

本製品が対応するUSBメモリー

規格	容量	ファイル形式	ファイル・フォルダー構成
USB Type-A (FAT16、FAT32)	最大64GB	MP3、WAV、FLAC	最大ファイル数：999 最大フォルダー数：500 ※1フォルダーあたり最大999ファイル

※上記に該当する場合でも、書き込み時の状況やUSBメモリーの質などにより、再生できない場合があります。
※データ量の大きいファイルが含まれていたり、フォルダー数・ファイル数が多い場合、読み込みや再生に時間がかかることがあります。
※ファイル名などに日本語を使用している場合は正しく表示されません。

ヒントとご注意

- 使い終わったら、必ず本体からUSBメモリーを抜いて保管してください。
- USB再生時は、停止した位置から再生されるレジューム機能が働きます。
- USB再生時に設定したリピート設定は、リモコンで電源を切った場合や主電源スイッチを切った場合でも保持されます。

故障かなと思ったら

症 状	確 認 事 項
電源が入らない	●電源コードが本体及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。ゆるんでいませんか。 ●本体の主電源スイッチがオフになっていませんか。 ●リモコン： ・乾電池は正しく装着されていますか。消耗していませんか。 ・リモコンと本体の距離が離れすぎたり、遮蔽物があったり、斜めの向きから操作していませんか。
音が出ない	●電源が入っていますか。 ●モードが正しく選ばれていますか。 ●本製品または音源機器の音量が最小または消音になっていませんか。 ●光デジタル/同軸デジタル/外部音声入力時： ・音源機器と正しく接続されていますか。端子がゆるんだりしていませんか。 ●ARCモード時： ・ARC対応と明記されたHDMIケーブルを使っていますか。 ・テレビのHDMI端子はARCに対応していますか。 ・テレビのデジタル音声出力先は、外部スピーカーになっていますか。 ・テレビやBlu-ray/DVDレコーダー・プレーヤーのデジタル音声出力設定は、正しいですか(ディスクやコンテンツの音声フォーマットにより設定が異なります。P.6、P.10をご参照ください)。 ●Bluetoothモード時： ・ペアリングしましたか。 ・音声出力先の選択など、相手側機器の設定は正しくなされていますか。 ・相手側機器との接続が解除されていませんか。 ●USBモード時： ・ファイル形式は本製品の仕様に対応していますか。 ・本製品が対応していない形式のファイルが含まれていませんか。 ・ファイルやフォルダー数が本製品の仕様を超えていませんか。
ペアリングができない	●本製品がサーチモードになっていますか。 ●相手側機器の電源は入っていますか。 ●相手側機器は本製品のプロファイルに対応していますか。 ●相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。 ●本製品または相手側機器が、すでに他の機器とBluetooth接続していませんか。
Bluetooth接続時に音が途切れる ノイズやエコー音がする	●本体と相手側機器が10m以上離れていませんか。 ●本体と相手側機器の間に遮蔽物がありませんか。 ●周囲で無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。
MUTEが点滅する	●消音になっていませんか。 ●リモコンのモードボタンでモードを一巡させる、またはリモコンの電源ボタンで本体の電源を入れ直すことで改善しませんか。

※Bluetooth接続時に不具合が起きたときは、相手側の機器に原因があることも考えられます。相手側のBluetooth機器を単独で使用したときに、同様の症状が出るかどうかをご確認ください。

主な仕様

電源	本体：AC100V 50/60Hz リモコン：DC3V 単4形乾電池×2本(別売)
定格消費電力	20W
定格最大出力	80W
スピーカー	口径57mmスピーカー(8Ω)×2(左右チャンネル) 口径57mmウーファースピーカー(4Ω)×4 その他：Air tube×2
音声フォーマット	Dolby Atmos、AAC、PCM、MP3、WAV、FLAC
再生周波数帯域	55Hz～20kHz
SN比	≧70dB
接続端子	HDMI(ARC)、USB(Type-A)、AUX(φ3.5mmステレオミニジャック)、 同軸デジタル(Coaxial)、光デジタル(角型)
Bluetooth	通信方式：Bluetooth標準規格 Ver. 5.3 プロファイル：A2DP、AVRCP、AVDTP、AVCTP コーデック：SBC、AAC 変調方式／周波数帯域：GFSK / 2.402～2.480GHz 最大通信距離：見通し 約10m(Class2) 再生周波数帯域：55Hz～20kHz(A2DP)
USBメモリー	Type-A(FAT16、FAT32)、最大64GB、ファイル形式：MP3、WAV、FLAC
許容動作温度／湿度	温度：0～45℃ 湿度：20～80%(結露なしにて)
外形寸法	幅940×高さ70×奥行80mm(突起物含まず)
質量	約2.64kg
付属品	専用電源コード(約120cm)、専用リモコン、 φ3.5mmステレオミニプラグコード(約150cm)、保証書付取扱説明書

※Bluetoothの最大通信距離は目安であり、使用状況により異なります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標で、当社はライセンスに基づき使用しています。

※ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

※HDMI、High-Definition Multimedia Interface、及びHDMIロゴは、米国及びその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

※その他、本書に記載している商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けています。

※本書の図版は実際の製品と一部異なる場合があります。

お手入れのしかた

本体及びリモコンの汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、
アルコールなどは使用しない

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。